

チュートリアル課題 あざが気になる高橋さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29013

2007 年度 Block. 5

課 題 No. 1

「あざが気になる高橋さん」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

寺村 正尚 (血液内科学)

シート1

高橋和夫さんは45歳の会社員です。1ヶ月前から階段を昇ると息が切れ、心臓がドキドキするようになりました。

提示資料

なし

抽出が期待される事項

息切れ
動悸

シート2

1週間前に咽頭痛と発熱が出現したため、近くの医院を受診し抗生物質をもらい飲んでいるのですが、むしろ症状は悪くなっています。数日前からは、ぶつけていないのに手足にあざができるようになり、心配になり総合病院を受診しました。

提示資料

資料1 臨床写真：シート2を提示したのち、学生から臨床写真の要求があったら出してください。要求がなくても、紫斑やあざなどのキーワードが出たときには提示してください。下腿の紫斑の写真を提示することにより、この症例に興味をもってもらうことが一番の目的ですが、できれば皮疹の表現の仕方、分類を学習することも期待して提示するものです。

抽出が期待される事項

咽頭炎
抗生物質
難治性感染症
紫斑
皮疹
出血傾向

シート3

総合病院の内科で血液検査を受けたところ、貧血がひどく、またそれ以外の血球にも異常があるといわれました。抗生物質の点滴を行うとともに精密検査を行う必要があるといわれ、入院を勧められました。

提示資料

資料2 血液検査所見(1)：学生から検査データの要求があれば出してください。要求が無くてもある程度、話が進んだ段階で出してください。汎血球減少症を来していることを示すために提示するものです。

抽出が期待される事項

貧血
白血球減少症
好中球減少症
血小板減少症
汎血球減少症
骨髄検査

シート4

骨髄検査が行われ、診断が確定しました。高橋さんは主治医から赤血球、白血球、血小板と呼ばれる血球がどのようにして作られ、どんな働きをしているのかについて説明を受けました。また、この病気がおこる原因や治療法などについても説明を受けました。治療法は2つあるとのことでした。

提示資料

資料 3 骨髄像写真：学生から骨髄検査所見の要求があったら出してください。要求がなくても、骨髄所見などが話題となったときには提示してください。脂肪髄とよばれる病理像であり、本症例が再生不良性貧血であるという診断根拠となります。

抽出が期待される事項

骨髄検査

骨髄の構造と機能

血球の産生機序

血球の種類およびその機能

脂肪髄

再生不良性貧血

免疫抑制療法

造血幹細胞移植

インフォームドコンセント

シート5

抗生物質の点滴を受けて、熱も下がり咽頭痛もすっかりよくなりました。高橋さんは骨髄移植ではなく、抗胸腺細胞グロブリンとシクロスポリンによる治療を受けることにしました。治療を受けてから3ヶ月後には貧血も次第によくなり、輸血もいらなくなりました。ところが治療6ヵ月後ごろより、朝起きてトイレに行くと、しばしば尿の色が黒褐色であることに気づきました。心配になり、そのことを主治医の先生に相談しました。直ちに血液および尿検査を受け、後日その結果について説明を受けました。

提示資料

資料4 尿一般・血液検査所見：学生から尿あるいは血液検査所見の要求があったら出してください。要求がなくても、話題が尿所見や血液検査に及んだときに必ず提示してください。

資料5 特殊検査所見：資料4を出して、それに対する討論が終わったところに提示してください。

資料6 インフォームドコンセントの説明文書：資料4、5は3回目のテュートリアルに提示することになりますが、資料6は4回目のテュートリアルで今回の課題の討論が終了した時点で最後の締めくくりとして提示してください。患者に対して説明すべき項目について理解してもらうことを目的としています。また、本症例が再生不良性貧血—発作性夜間ヘモグロビン尿症症候群であることに到達できなかったグループでも、この説明文書を見ることにより、学生はそれを認識することができます。

抽出が期待される事項

骨髄移植
抗胸腺細胞グロブリン
シクロスポリン
輸血（成分輸血）
免疫抑制療法
ヘモグロビン尿
発作性夜間ヘモグロビン尿症
再生不良性貧血—発作性夜間ヘモグロビン尿症症候群